

施策評価管理シート

2020(令和2)年6月作成

施策体系	政策	5	未来につながる自立と協働による市政経営	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	自主自立の市政経営		
	施策	1	「新・理想郷プラン」の推進	総合企画政策室	田中 克広

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 計画に定める目標達成に向けて、市民意識調査や行政評価などをもとに、計画的確な進行管理を行い、新たな施策展開へとつなげます。
- 人口減少・少子高齢化を喫緊の課題と捉え、重点戦略に掲げる3つのプロジェクトに関わる各種施策の横断的・多面的かつ一体的な取組を推進し、地域活力の創生に取り組みます。
- 周辺自治体をはじめ、三重県や県内外の自治体と幅広い分野で相互に補完・連携・協力・交流し、効率的で質の高い広域的なまちづくりを進めます。
- 市民生活におけるモバイル等の技術の普及に対応しつつ、市民サービスをIT技術の活用を前提にデザインするなど、各施策の取組にあたっては、社会におけるITインフラの整備状況やIT技術の進化を踏まえたサービス設計や行政運営を目指します。

2. 令和元年度の取組内容及びその成果



- ・総合計画「新・理想郷プラン」の推進のため、毎年度、行政評価による取組成果の評価・検証を行い、その結果を踏まえた効果的・戦略的な事業展開を図りました。また、その結果を行政評価報告書にとりまとめ、市民に公表するとともに、施策展開の方向性を示しました。
- ・「名張市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策においては、地方創生関連交付金を最大限に活用し取組を進めました。また、民産学官金労言の各分野の外部委員で構成する「名張市地域活力創生会議」を3回開催し、総合戦略に基づく取組の効果検証並びに第2期総合戦略策定における意見聴取を行い、第1期の取組を継続・強化するとともに、SDGsや関係人口など新たな視点も取り入れた第2期名張市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。
- ・人口動態について、自然減、社会減の状況は依然として継続していますが、15歳未満人口の転入超過は平成25年より継続しており、本市の子育て・教育や暮らしのまちとしての暮らしやすさを感じて転入いただいていると思われまます。一方で、外国人の増加が顕著な状況にあり、それに対応すべく、庁舎内に翻訳機の設置や、外国人のコミュニティ参加を支援する多文化共生センターを開設し、外国人の暮らしをサポートする体制を整えました。
- ・移住定住の促進については、都市部をはじめとする移住相談会等への出展を11回実施し、延べ443名の方に来場をいただきました。また、移住者相互のネットワークの構築を目的として移住者を対象とした意見交換・交流会を3回開催、さらに、都市部住民を対象に将来的に移住につながるための関わり創出を目的とした名張現地体験イベントを実施し、各イベントにおいて合計30名の参加をいただきました。これらの参加者については、今後のイベントなどで関係を継続し、将来的な移住促進に努めていきます。このような取組を通じ、令和元年度の移住者数は28世帯64人であり、特に子ども発達支援センターや空き家バンクを通じた移住が多い状況にあります。
- ・三重県の主催により、名張市、伊賀市、三重県が連携し、伊賀地域の未来を考え、お互いを高め合うことを目指す若手職員を対象とした共同研究の実施方法について検討を行いました。また、防災に関する伊賀圏域での広域的な取組に関して伊賀市と検討会議を行いました。
- ・平成13年に庁内情報ネットワークシステムの基礎となる「情報系通信基盤」の構築を行って以降、組織・機構改革等により端末機器の移動・集中により通信機器の負荷が増大し、通信途絶・遅延等の障害が発生していたことから、通信機器の更改と併せて負荷分散の配置を行い、事務処理の停滞をなくしました。また「情報系通信基盤」中の共有ファイルについても同様に障害があったところ、併せて機器更改により解決を図りました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
「新・理想郷プラン」第2次基本計画の数値目標の達成状況(%)	目標	-	-	-	-	-	100.0	38.6%
	成果	-	-	38.6				
市の移住等に関するホームページ内のいずれかのページへの1月あたりの平均アクセス件数(件)	目標	-	-	-	-	-	3,500	0.0%
	成果	3,139	2,396	2,179				

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・事務事業評価の取組が各施策の指標の目標値の達成・未達成だけに視点が行ってしまい、単なる作業と化してしまうことのないよう、目標の実現に向けて、施策の現状分析に重点を置き、課題を明らかにした上で、有効な対策を考えるなど、効果・効率的なツールとして活用していく必要があります。
- ・自然減、社会減の状況に対応するため、子育て支援、教育施策の強化や、健康づくりなどによる健康寿命の延伸、さらには、市民の郷土愛の醸成などによる定住促進を図る必要があります。
- ・移住定住の促進について、移住相談状況としては東京での移住相談件数は全体の約5割となっておりますが、関東地域からの移住者数は全体の約1割にとどまっています。そこで、今後は移住者の出身地域や年齢層を絞ったイベント(例:Uターン移住の促進→同郷会、就農希望→農業セミナーなど)を行い、移住促進のPRに努め、首都圏からの移住数も拡大していきます。また、施策指標の状況については、移住専用ウェブサイトにおいて、住まい・仕事などの総合的な情報発信に努めていますが、アクセス件数は微減しており、8月、10月の観光シーズン時にはアクセス件数が伸びるものの、目標件数には届いていない状況です。移住希望者の多様なニーズに沿ったきめ細やかな情報を年間を通して提供すると共に、現在の移住専用ウェブサイトのみならず、インスタグラムなどの影響力の高いSNSでの発信に努める必要があります。
- ・ひとつの自治体内で一通りの生活機能を揃え、市民サービスの全てを完結することが困難であると同時に非効率であるとも言える中、広域的なまちづくりに取り組む必要があります。
- ・多様化し急速に変化する社会に対応した市民サービスを限られた行政資源の中できめ細かく提供していくためには、IT技術の活用は不可欠なものであり、その技術の進化を捉え、行政事務に取り込み生かす必要があります。

事務事業シート

(R.2)No.	1451	(R.1)No.	1451
----------	------	----------	------

事務事業名	地域活力創生事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	地域活力創生室	深井 克治	

会計区分	事業コード	029901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	総務費	地域活力創生事業
項	総務管理費	(小事業名)
目	企画費	地域活力創生事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5 未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 自主自立の市政経営	
	施策	1 「新・理想郷プラン」の推進	
重点プロジェクト	1. 元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
今年度を始期とする第2期「名張市まち・ひと・しごと創生」の取組を推進し、市民との意識共有や施策の横断的・戦略的な事業展開により、人口減少の抑制と地域活力の創生を目指します。
事業内容
第2期「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果的な推進を図るため、地域住民や産業界、教育機関、金融機関等を構成員とした推進組織である名張市地域活力創生会議を設置し、総合戦略の各施策の方向性や具体案について広く意見が反映されるようにします。また、移住・定住促進を図る就労情報・空き家情報等の一元的な情報発信や、SNS等を活用したシティブロモーションを展開します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果検証、第2期総合戦略の策定・地域活力創生会議(3回開催) ○移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住促進パンフレット改訂版の作成 ・移住施策を通じた本市への移住者数 →28世帯64人 ○シティブロモーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生とのコラボによるインスタグラムを活用したフォトコンテスト「隠スタグラム」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果検証 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活力創生会議(1回開催予定) ○移住・定住の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・都市部における移住相談会への出展(7回予定) ・移住支援金の交付 ○シティブロモーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した情報発信 ○地域おこし協力隊の募集・採用



R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> ○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果検証 ○移住・定住の促進 ○シティブロモーションの推進 ○地域おこし協力隊による地域活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果検証 ○移住・定住の促進 ○シティブロモーションの推進 ○地域おこし協力隊による地域活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果検証 ○移住・定住の促進 ○シティブロモーションの推進 ○地域おこし協力隊募集・採用

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		459千円		5,200千円	4,550千円	4,550千円	
内訳(千円)				450			
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	459	0	4,750	4,550	4,550	0
人工数		1.30人		2.40人	1.40人	1.40人	
臨時職員等					0.00人	0.00人	
②概算人件費	0千円	9,750千円	0千円	18,000千円	10,500千円	10,500千円	0千円
①+②総事業費	0千円	10,209千円	0千円	23,200千円	15,050千円	15,050千円	0千円

事務事業シート

(R.2)No.	1512	(R.1)No.	1512
----------	------	----------	------

事務事業名	移住・定住・交流推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	地域活力創生室	深井 克治	

会計区分	事業コード	029904
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	地域活力創生事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	移住・定住・交流推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5 未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 自主自立の市政経営	
	施策	1 「新・理想郷プラン」の推進	名張市まち・ひと・しごと創生総合戦略
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	都市住民等へ向けたPR活動及び交流人口の拡大に向け、地域の活性化と移住・定住へ繋げるための事業展開を図ります。
事業内容	本事業では、都市部の住民から移住先として選ばれるよう、段階を経た事業展開を図り、第1段階としては都市部の住民に知ってもらいきっかけをつくるため、PR冊子の作成やシティプロモーションを実施、第2段階では、都市部住民と地域住民との交流の場を設けるイベントを実施し、来訪してもらう機会を設けるとともに、地域住民にとっても移住者の受入体制を構築するための取組を行いました。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)			R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○移住者を中心とした交流会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・移住者交流会(6月実施) ・農の創造トーク(11月実施) ・市民・移住者対象 意見交換・交流会(12月) ・都市部との交流会 冬デイキャンプ(1月) ○都市部での移住促進PR活動 <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会への出展(7回) ・市単独イベント(東京、9月) ・市及び名張物産の紹介イベント(東京、9月) ・近鉄難波駅の電光看板設置 ○セミナー・交流会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化センター主催セミナー参加 ・JOIN会員交流会への参加 ○移住促進ツール <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進パンフレットの改訂 						

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		1,780千円					
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()		1,700					
一般財源	0	80	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.95人					
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	7,125千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	8,905千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

事務事業シート

(R.2)No.	6003	(R.1)No.	6003
----------	------	----------	------

事務事業名	秘書管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
	秘書広報室	内匠 勝也	

会計区分		事業コード	021001
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
款	総務費	秘書管理費	
項	総務管理費	(小事業名)	
目	秘書管理費	秘書管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2	自主自立の市政経営	
	施策	1	「新・理想郷プラン」の推進	
重点プロジェクト				

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	
市長、副市長の公務を効果的、効率的に行い、市民、団体、国、県等との連携を深め、市政の円滑な推進を図ります。	
事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・市長・副市長等のスケジュール管理や調整。 ・出席する会議等の挨拶文等の調整、情報の収集。 ・議会説明等の調整。 ・全国市長会、東海市長会、三重県市長会に関する事務。 ・市表彰事務。 ・来客の対応。 	

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・交際費、食糧費の適正な執行管理を行いながら、市ホームページで毎月、支出の状況を公開しています。 ・市長公務予定表を毎月、上旬・下旬に分けて公開しています。 ・旅費 1,755千円 全国市長会 4回 東海市長会 2回 他 ・分担金、負担金 1,549千円 全国市長会 428千円 東海市長会 20千円 三重県市長会 1,005千円 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・交際費、食糧費の適正な執行管理を行いながら、市ホームページで毎月、支出の状況を公開しています。 ・市長公務予定表を毎月、上旬・下旬に分けて公開しています。 ・旅費 1,595千円 全国市長会 4回 東海市長会 2回 他 ・分担金、負担金 1,518千円 全国市長会 428千円 東海市長会 20千円 三重県市長会 985千円 他



R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 全国市長会 東海市長会 他 ・分担金、負担金 全国市長会 東海市長会 三重県市長会 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 全国市長会 東海市長会 他 ・分担金、負担金 全国市長会 東海市長会 三重県市長会 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 全国市長会 東海市長会 他 ・分担金、負担金 全国市長会 東海市長会 三重県市長会 他

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		4,097千円		3,864千円	3,864千円	3,864千円	3,864千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	4,097	0	3,864	3,864	3,864	3,864
人工数							
職員		2.50人		2.50人	2.50人	2.50人	2.50人
臨時職員等		1.92人		1.92人	1.92人	1.92人	1.92人
②概算人件費	0千円	22,398千円	0千円	22,398千円	22,398千円	22,398千円	22,398千円
①+②総事業費	0千円	26,495千円	0千円	26,262千円	26,262千円	26,262千円	26,262千円

事務事業シート

(R.2)No.	6010	(R.1)No.	6010
----------	------	----------	------

事務事業名	IT活用システム運用管理事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	情報政策室	横山 富男	

会計区分	事業コード	022501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	IT活用システム運用管理事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 IT推進事業費	IT活用システム運用管理事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5 未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 自主自立の市政経営	
	施策	1 「新・理想郷プラン」の推進	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> ・住民情報関連システムの安定的運用を図ります。 ・行政事務の効率的な執行を確保します。 ・IT技術の進化を踏まえた行政事務の効率化を支援します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・総合住民情報システム、戸籍システム等住民情報関連システム(約50システム)の運用管理及び稼働維持 ・法及び制度改正に伴う住民情報関連システムの改修 ・上記システムに係る機器及びパッケージソフト賃貸借 ・税納付書、保険証などの印刷及び出力作業 ・統合型行政内部情報システムの運用管理 ・市ホームページ等Webサイト環境の運用管理

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)			R.5年度(事業計画)		
主な事業の実績・計画	総合住民情報システム及び行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用 地域の情報発信のためのHPサーバー及び公共施設予約システムの運用		総合住民情報システム及び行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用 〔・内部情報系端末入替〕		総合住民情報システム及び行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用			総合住民情報システム及び行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用			総合住民情報システム及び行政内部情報システムの運用、庁内情報ネットワークシステムの運用 〔・総合住民情報システム更改 ・情報通信基盤更改〕		

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		254,636千円		278,845千円	280,115千円	280,115千円	338,255千円
内訳(千円)		30,000		30,000	30,000	30,000	30,000
国・県支出金							
地方債							
その他()		8,548		10,431	10,000	10,000	10,000
一般財源	0	216,088	0	238,414	240,115	240,115	298,255
人工数		4.83人		4.83人	4.83人	4.83人	4.83人
職員							
臨時職員等		0.96人		0.96人	0.95人	0.95人	0.95人
②概算人件費	0千円	38,049千円	0千円	38,049千円	38,030千円	38,030千円	38,030千円
①+②総事業費	0千円	292,685千円	0千円	316,894千円	318,145千円	318,145千円	376,285千円

事務事業シート

(R.2)No.	6014	(R.1)No.	6014
----------	------	----------	------

事務事業名	広域連携推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	総合企画政策室	深井 克治	

会計区分	事業コード	023602
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	広域行政推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	広域連携推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5 未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 自主自立の市政経営	
	施策	1 「新・理想郷プラン」の推進	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市の歴史・文化や自然、産業等の地域資源、地理的特性を生かした様々な地域への情報発信や交流・連携の取組拡大を図りながら知名度アップを目指すとともに、近隣自治体との連携により魅力ある圏域づくりを目指します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市をはじめ近隣自治体との連携を強化し、それぞれの地域個性を発揮しながら、互いに補完・協力し合うことで、魅力ある圏域づくりに取り組みます。 三重県の西の玄関口としての地理的な特性を生かし、三重県と関西都市圏とを結ぶ拠点機能を担い、戦略的な連携・交流と積極的な情報発信に取り組みます。 歴史や文化、産業など幅広い分野における都市間交流と連携を深めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○広域行政の推進 ・県・市との広域行政に関する検討協議(防災、県と市の若手職員による共同研究) ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流 ・主な取組なし 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域行政の推進 ・県・市との広域行政に関する検討協議(防災、県と市の若手職員による共同研究) ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流 ・東大寺サミットへの参加(山口県山口市) 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域行政の推進 ・伊賀市との広域行政に関する検討協議 ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域行政の推進 ・伊賀市との広域行政に関する検討協議 ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流 ・東大寺サミット 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域行政の推進 ・伊賀市との広域行政に関する検討協議 ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流 		

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		44千円		289千円	237千円	300千円	237千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	44	0	289	237	300	237
人工数							
職員		0.23人		0.40人	0.30人	0.40人	0.30人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	1,725千円	0千円	3,000千円	2,250千円	3,000千円	2,250千円
①+②総事業費	0千円	1,769千円	0千円	3,289千円	2,487千円	3,300千円	2,487千円

事務事業シート

事務事業名	国勢調査事務費		
担当部局名	総務部	担当室名	情報政策室
		室長名	藤山 尚美

(R.2)No.	6047
----------	------

(R.1)No.	-
----------	---

会計区分	一般会計	事業コード	080601
		(中事業名)※予算書事業名	
款	総務費	国勢調査事務費	
項	統計調査費	(小事業名)	
目	統計調査費	国勢調査事務費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5 未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2 自主自立の市政経営	
	施策	1 「新・理想郷プラン」の推進	
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
人口、世帯数、就業構造等、基本的なデータを幅広く集積し、国・県・市町村における各種行政施策の立案、実施、その他の基礎資料とします。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・5年に一度、全国一斉に実施される我が国最大の基幹統計調査であり、全世帯を対象に実施。 ・名張市では500名を超える、調査員(約459名)・指導員(約67名)が各事務を行っていただきます。 ・国が掲げる回答率50パーセントを目指し、オンライン回答を推進。 ・回収された調査票は、審査後、国において集計され公表されます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
				<ul style="list-style-type: none"> ・国勢調査実施本部の設置 ・指導員・調査員の確保 ・調査員・指導員説明会 ・調査趣旨理解のための広報 (大型型スーパー、地区公民館等へのポスター掲示依頼) (地区公民館、学校等への啓発品の配布) (広報なばり、市ホームページ、FMなばり、庁内モニタ) ・実査支援 ・調査票回収及び審査 ・調査票集計業務 			

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費				39,480千円			
内訳(千円)				39,480			
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数				1.60人			
職員							
臨時職員等				1.47人			
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	14,793千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	54,273千円	0千円	0千円	0千円

(令和2年6月作成)

事務事業シート

(R.2)No.	6048	(R.1)No.	6048
----------	------	----------	------

事務事業名	統計調査分析費		
担当部局名	総務部	担当室名	情報政策室
		室長名	藤山 尚美

会計区分	一般会計	事業コード	080501
		(中事業名)※予算書事業名	
款	総務費	統計調査分析費	
項	統計調査費	(小事業名)	
目	統計調査費	統計調査分析費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	2	自主自立の市政経営	
	施策	1	「新・理想郷プラン」の推進	
重点プロジェクト				

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	統計情報は、国県市や事業所の各種事業計画の策定根拠となるほか、個人・研究機関等の学術的な研究資料となるため、県から委託を受けて各種統計調査を実施する。その調査結果の精度向上に努めるとともに、国によって集計・公表される調査結果を広く提供します。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国勢調査調査区設定、経済センサス調査区管理、経済センサス-基礎調査(甲・乙)、経済センサス-活動調査、全国家計構造調査、学校基本調査、農林業センサス、工業統計調査、人口推計調査等各種統計調査の実施。 ・統計調査員を確保。 ・名張市統計書を発行。 ・統計資料を積極的に提供。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	2019年経済センサス-基礎調査、平成31年度学校基本調査、2019年全国家計構造調査、2020年農林業センサス、2019年工業統計調査、平成31年度三重県人口推計調査、平成31年度統計調査員確保対策事業、2020年国勢調査調査区設定、平成31年度経済センサス調査区設定、2020年名張市統計書作成	(国勢調査)、令和2年度学校基本調査、令和2年度工業統計調査、令和2年度三重県人口推計調査、令和2年度統計調査員確保対策事業、令和2年度経済センサス調査区設定、2021年名張市統計書資料編作成	経済センサス-活動調査、学校基本調査、三重県人口推計調査、統計調査員確保対策事業、名張市統計書資料編作成	就業構造基本調査、学校基本調査、三重県人口推計調査、統計調査員確保対策事業、名張市統計書資料編作成	住宅・土地統計調査、学校基本調査、三重県人口推計調査、統計調査員確保対策事業、名張市統計書資料編作成

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		8,229千円		2,724千円	6,000千円	5,500千円	8,830千円
内訳(千円)		5,061		641	4,500	4,000	6,590
国・県支出金							
地方債							
その他()		2		3	2	2	2
一般財源	0	3,166	0	2,080	1,498	1,498	2,238
人工数		1.67人		0.40人	2.00人	2.00人	2.00人
職員							
臨時職員等		1.25人		0.74人	0.77人	0.77人	0.77人
②概算人件費	0千円	14,900千円	0千円	4,406千円	16,463千円	16,463千円	16,463千円
①+②総事業費	0千円	23,129千円	0千円	7,130千円	22,463千円	21,963千円	25,293千円